

Digital Signage System MEDIA PLAYER



44 2000シリーズ メディアプレーヤー | 46 2000シリーズ 専用中央管理システム | 48 2000シリーズ 専用ソフトウェア

メディアプレーヤーやデジタルサイネージ用PC、中央管理ソフトウェアをすることで、より効果的で効率的なデジタルサイネージの運用が可能になります。ネットワークを使った遠隔からのコンテンツ更新やスケジュールの配信、静止画・動画やHTML・RSSなど様々なコンテンツファイルの配信、複数台のメディアプレーヤーの集中管理などデジタルサイネージの幅が広がります。



液晶デジタルサイネージ

屋外用
液晶デジタルサイネージ

屋内用
液晶デジタルサイネージ

タッチパネル
液晶デジタルサイネージ

LEDビジョン

メディアプレーヤー

デジタルサイネージ用PC

周辺機器

2000シリーズ メディアプレーヤー

グローバルアクセスに対応し、遠隔からコンテンツやスケジュールの更新が可能。

静止画・動画・HTML・RSSなど、様々なコンテンツファイルに対応し、CMSを使った集中管理システムの構築も可能。



拡張性に優れたメディアプレーヤー

2000シリーズのメディアプレーヤーは、様々なコンテンツファイルに対応し、リッチなコンテンツの配信が可能です。中央管理サーバーに加え専用ソフトウェアによる様々な分析も可能です。



※オプションです。

ブラウザ経由、オフラインでのコンテンツ更新

2000シリーズのメディアプレーヤーは、PCからプレーヤーにブラウザでアクセスし、ネットワーク経由で更新することも、マウス・キーボードをプレーヤー本体に直接つないでオフラインで更新することも可能です。ネットワーク環境のない場所でもデジタルサイネージを配信できます。



様々な素材データを利用可能なダウンロードサービス

時計やスキン、プログラム、プレイリスト等のコンテンツ関連素材を無料の専用サイトからプレーヤーに直接ダウンロードできます。

スケジュール設定で効果的な情報配信

曜日毎、日毎、時間毎など、自由にコンテンツの配信スケジュールを設定することができます。ランチタイムやタイムセール、期間限定のCMなど、時間帯や期間に応じた効果的な情報配信が可能になります。その他にも、映像出力のオン/オフやシステム再起動、音量のスケジュールもプレーヤーから設定が可能です。



1台のプレーヤーで複数のディスプレイに同時出力が可能

2系統のディスプレイ出力を搭載した2000シリーズメディアプレーヤーでは、2台のディスプレイに同時出力が可能です。独立出力、クローン出力、拡張出力の3つの出力モードに対応しています。

▶独立出力

2台のディスプレイを接続し、異なるコンテンツを表示します。



▶拡張出力

2台のディスプレイを接続し、1台の拡張ディスプレイとして表示します。



▶クローン出力

2台のディスプレイを接続し、同一コンテンツを表示します。





品 番	NSTB-2201-4K
オペレーティングシステム	組み込み型 Linux
コンテンツソース	ローカルディスク または ネットワークサーバー
再生モード	スキン、プログラム、プレイリスト
動画データ	コンテナ : MPEG, MPG, VOB, WMV, MP4, AVI 動画コーデック : MPEG2 (1080p), MPEG4 (1080p), WMV (1080p), H.264 (4K UHD), H.265 (4K UHD) 音声コーデック : MP3, WMA7 / 8
静止画データ	JPEG, BMP, GIF
プログラム/データ	URI (HTML5, JavaScript, RSS), HTML, HTM, CSS, JS, PDF
ビデオ解像度	最大3840 × 2160 (4K · UltraHD@30Hz), 1080p × 2画面 / 4K UHD × 1画面
ビデオビットレート	最大30Mbps : MPEG2 (1080p), MPEG4 (1080p), WMV (1080P), H.264 (1080p) 最大15Mbps : H.264 (4K UHD), H.265 (4K UHD)
システム仕様	<ul style="list-style-type: none">ウェブページ<ul style="list-style-type: none">・ウェブブラウザ : Firefox (v116 Linux build)・ウェブ言語 : HTML5, JavaScript および RSS / ATOM Feed 対応・プラグイン : メディアプレーヤー (映像と音楽), テロップ、画像スライドショー・コンテンツ : HTML / PDFファイル、リモートURL再生能力<ul style="list-style-type: none">・Skin Editor を使用することで、メディアプレーヤーやPCで直接テンプレートの作成が可能・画面構成 : ビデオゾーン × 2 (ビデオファイル / ストリーミング / 音声), HTMLゾーン × 3, 画像ゾーン × 2, テロップゾーン × 2, 時計ゾーン × 1, 背景画像 × 1・コンテンツの連続再生可能時間 : 1日 ~ 数週間※ビットレートやコーデックに依存・スケジュール機能による定期再起動が必要管理機能<ul style="list-style-type: none">・ウェブマネジャー (ウェブブラウザによるネットワークリモートアクセス制御)・コンテンツの更新、スケジュール編集管理・ハードウェアモニター、ログ、システムの更新、システムの再起動とシャットダウン、構成設定情報のバックアップと復元・推奨ブラウザ : IE11またはそれ以降、Chrome71またはそれ以降、Firefox56またはそれ以降のバージョンディスプレイ<ul style="list-style-type: none">・スクリーン解像度 : 640 × 480, 800 × 600, 1024 × 768, 1152 × 864, 1280 × 720 (720p), 1280 × 768, 1280 × 1024, 1360 × 768, 1366 × 768, 1600 × 900, 1600 × 1200, 1680 × 1050, 1920 × 1080, 1920 × 1200, 1920 × 1440, 3840 × 2160 (30Hz, 単独 / 同一モード)・単独モード / 同一モード : ユーザー定義の解像度で垂直または水平 4096px までサポート・拡張モード / 個別モード : ユーザー定義の解像度で垂直または水平 2048px までサポート・縦型モード : 90° と 270° 回転・2画面同時出力 : 単独モード、同一モード、拡張モード、個別モード・スクリーンセーバー内蔵ストレージCPUネットワークビデオ出力音声出力その他電 源外形寸法重 量認 可希望小売価格

NCMS-SE
2000シリーズ専用中央管理システム

最大4,000台の集中管理に対応

2000シリーズ専用の中央管理システム「NCMS-SE」を用いて、2000シリーズメディアプレーヤー最大4,000台までのコンテンツやスケジュール設定を集中管理することができます。

製品詳細
P.47

SuperReporter
2000シリーズ専用レポート作成支援ソフトウェア

オプションの専用ソフトウェアでレポート作成

「SuperReporter」はオプションの専用ソフトウェアでパフォーマンス分析や請求書作成を支援する運用レポートを作成することができます。

製品詳細
P.48



2000シリーズ専用 中央管理システム

小規模から大規模まで運用可能、最大4,000台のプレーヤーのコンテンツやスケジュールを効率的に管理。

2000シリーズの中央管理システム(NCMS-SE)は、必要な台数分のメディアプレーヤーのライセンスを取得することで、最大4,000台のメディアプレーヤーを集中管理することができます。コンテンツの管理やスケジュールの設定、配信状況の監視、緊急コンテンツの一括配信など、様々な機能が備わっています。設定管理用PC側では特別な専用ソフトウェアを必要とせず、ブラウザでCMSサーバーにアクセスするだけでご使用いただけます。

小規模から大規模までクラウド上で効率的に管理

NCMS-SE(クラウドタイプ)はクラウド上で中央管理システムの構築が可能です。

数十台から数千台規模の大規模運用でもデータやスケジュールなどの設定を一括で更新でき、管理を効率的に行うことが可能です。

「NCMS-SE」導入のメリット

- ▶ サーバー実機を伴わないため比較的導入が容易 ^{※1}
- ▶ 小規模から大規模までのスケーラビリティに対応
- ▶ ハード故障の危険性が低く、データの消失リスクを抑えることができる
- ▶ メディアプレーヤーの設置場所がローカルでもグローバルでも使用可能 ^{※2}

※1 ご契約内容によっては一部機能に制限がかかります。※2 固定IPサービスまたは代替サービスの利用を推奨、及びポート開放が必要です。

複数拠点での構築例



コンテンツの作成と集中管理

CMSからコンテンツの作成・保存ができ、いつでも任意のプレーヤーに配信可能。配信コンテンツはプレーヤー側にも保存され、CMS側の接続が切れてもプレーヤーの表示が止まることはありません。



緊急コンテンツの配信

選択したグループに対して災害時に配信する緊急コンテンツや、タイムセール等の特定の時間に配信するコンテンツを一斉配信できます。スケジュールを無視して、すぐに配信可能です。



グループの細分化で、データやスケジュールを効率的に集中管理

中央管理システム(NCMS-SE)では、再生に必要なスケジュールやデータ(コンテンツ・素材)をグループ毎に一括更新することが可能。また、グループにはサブグループを作成でき、親となるグループのデータを同期します。同期したデータでコンテンツを再生したり、サブグループで新たに作成したデータと組み合わせたコンテンツ再生が可能です。グループの細分化により、データやスケジュールを効率的に集中管理できます。



品番	NCMS-SE
運用タイプ	クラウド
ユーザーアカウント	無制限のユーザーアカウント作成。各アカウントごとに異なるアクセス権を設定可能
メディアプレーヤー管理	<ul style="list-style-type: none"> CMSがコントロールする全てのメディアプレーヤーの一覧をツリー表示 グループを作成して、メディアプレーヤーの管理や稼働状態をモニターが可能 ページあたり最大15台のメディアプレーヤーのスクリーンショットを確認可能 切断、接続、停止のイベント発生時に、警告通知を複数のユーザーにメールで送信
コンテンツの管理と更新	<ul style="list-style-type: none"> CMSのWebManagerからファイルを更新 最大4000台のメディアプレーヤーのコンテンツを同時に更新可能 グループおよび集合(複数のグループを集めたもの)内にあるメディアプレーヤーを管理 各グループにメディアフォルダーを割り当て、グループ内のメディアプレーヤーが表示するコンテンツを同期
一括管理 スケジューリング	<ul style="list-style-type: none"> 表示の方法: カレンダーまたはタイムテーブル スケジュールモード: 1回のみ、日ごと、週ごと、月ごと、年ごと、場所ごと 再生スケジュール: タスクスケジュールを編集可能、さらにスキン再生モードのサブスケジュールでゾーンごとにタスクを編集可能 使用可能メディア: スキン、プログラム、プレイリスト、映像、画像、テロップ、HTML / Flash 緊急メッセージ: スキンやプログラム、プレイリスト、映像、画像、HTML / Flashを使用して緊急メッセージの作成が可能
ネットワークプロトコル	IP、TCP、UDP、ICMP、HTTP、DHCP、SMB / CIFS、FTP
推奨ブラウザ	IE 11 またはそれ以降、Chrome 71 またはそれ以降、Firefox 56 またはそれ以降のバージョン
希望小売価格	オープン価格

※ご契約・運用形態によっては一部機能に制限がかかります。

2000シリーズ専用ソフトウェア

中央管理システム(NCMS-SE)とメディアプレーヤーの運用、管理、分析を支援する2000シリーズ専用ソフトウェア。
大規模なデジタルサイネージシステムの運用に関する高度なレポート作成を支援。

Super Reporter

パフォーマンス分析や請求書作成を支援する運用レポートを作成

2000シリーズネットワークの運用に関する高度なレポートの作成を支援するマネージメントソフトウェアです。
ネットワーク接続された複数のメディアプレーヤーの再生状況とシステム状態をレポートします。



運営レポートを簡単に自動作成

デジタルサイネージの運営者は、請求書の作成に必要な再生レポートを作成できます。また、ネットワーク管理者は、定期的なパフォーマンスレビューのレポートを作成できます。



プロジェクトの管理

▶複数のプロジェクトを同時に管理

異なるデジタルサイネージネットワークを同時に管理し、プロジェクトごとにレポートを作成できます。地域や顧客、コンテンツ、ビジネスモデルなどのカテゴリー別にプレーヤーを管理することも可能です。

▶必要なときに必要なレポートを作成

分析対象期間を設定するだけで、何時でもレポートを作成できます。

いろいろな角度から再生状態を分析

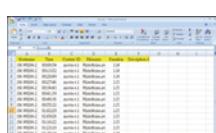
1日または1時間あたりの各コンテンツファイルの総再生回数と総再生時間をチェック可能な「時間ベースの比較」と、指定したコンテンツファイルの総再生回数と総再生時間をチェック可能な「ファイルベースの比較」の2つの方法で再生状態を比較できます。

レポートを2つのフォーマットでエクスポート



▶HTML形式でエクスポート

HTML形式でエクスポートすると、統計データや図表をインターネット経由で共有できます。



▶Excel形式でエクスポート

Excel形式でエクスポートすると、独自の分析やレポート、図表などを作成する際に便利です。

レポートを自動および定期的に作成

SuperReporter2とバッチファイルまたはWindows® Scheduled Tasksを連携して使用すると、いろいろな種類の日次または週次レポートを自動的に作成して送信できます。作成したレポートを電子メールでマーケティング担当者に送信したり、作成したレポートをまとめて毎月1日にコンピュータに自動保存することなども可能です。

広告エージェンシー用のレポートを作成

再生したコンテンツのソースを直ちに分類し、広告主またはコンテンツプロバイダー向けのレポートを作成できます。

製品画像	
品番	SuperReporter
オペレーティングシステム	Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 10
ディスプレイ解像度	1024 × 768 またはそれ以上を推奨
プロセッサ	Intel® Pentium® 4 互換CPU またはそれ以降
メモリー	最小 512MB、1024MB またはそれ以上を推奨
HDD空き容量	プログラムおよび設定ファイル用に10MB、ログデータの保存用に20GB
備考	操作画面は英語表示のみとなります
希望小売価格	オープン価格